

## 肝動脈化学塞栓術（TACE）を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日 入院(検査前日)	検査前	検査後	検査後1日目	検査後2・3日目	検査後4日目	検査後5・6日目	検査後7日目 退院
達成目標	・治療前の準備を計画的に行うことができる	・発熱のコントロールができています ・安全に不安なく治療を終了でき、治療後の安静を守ることができる	・4時間の安静の後に足の付け根の針を刺した部分を、医師が消毒します	・発熱のコントロールができています ・症状を医療者に伝えることができる	・発熱のコントロールができています ・穿刺部の異常（痛み・赤み・腫れ）や発熱などがある時は、医療者へ伝えることができる			・発熱のコントロールができています ・退院後の生活の注意点がわかる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・看護師が、足の甲の脈が触れる所にしるしをつけます ・看護師が、両足の付け根の部分を除毛します。除毛後は看護師が確認します ・看護師と一緒に、治療当日の朝に内服する薬を確認します	・8時までには検査着に着替えて頂き、看護師が点滴を行います ・処置室から連絡が来たらストレッチャーに移って頂き、看護師が肩に不安を和らげる注射をします	・4時間の安静の後に足の付け根の針を刺した部分を、医師が消毒します ・点滴は3日間程度続きます ・抗生剤は朝と夕の2回点滴します 	・医師が消毒します	・看護師が消毒します	・穿刺部の痛みや赤み、腫れなどの症状がない場合は、創部の保護は取り除きます 		
検査	・採血、検尿があります ・レントゲン撮影があります ・心電図があります		・熱、脈拍、血圧を測ります	・採血があります 		・採血があります	・体重を測ります	・採血があります
活動・安静度	・制限はありません		・4時間はベッド上安静です。動脈を穿刺しているのので、出血しないように足の付け根は動かさず ・足首の関節は血栓予防のため積極的に動かします	・尿管を抜いて最初に歩行する時は、ふらつきやすく転倒するがあるので、必ず看護師と一緒に移動します		・制限はありません 		
食事	・制限はありません	・朝は絶食です 	・安静中も寝たままでも飲水ができます ・許可がでたら昼食から寝たままでも食べることができます	・制限はありません 				
清潔	・治療に向け、シャワー浴か入浴をします	・シャワー浴、入浴はできません		・体を拭きます	・創部を保護してシャワー浴ができます 			・退院後は入浴可能です
排泄		・尿管を入れます ・尿管は当日には抜く予定です ・尿管を抜いた後に尿が出にくい場合があればお知らせください						
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・入院生活、治療についてのオリエンテーションを行います ・治療に必要な物品の準備をします ①T字帯 1枚 ②お茶又は水 1000ml ③薬のみ又はストロー 売店でも購入できます		・痛みや吐き気、発熱がある時は、お薬を使用しますので、ナースコールでお知らせください 		<退院後の生活について> ・外出後の手洗い、うがいは必ず行いましょう ・体力が早く回復するために、食事は3食規則的に食べましょう ・食中毒で重篤な状態になることがあるので、生食・生貝は避けましょう ・次の症状がある時は、早めに受診して下さい ①吐き気で食欲がない ②腹痛や黒い便がでる ③手足・背中のむくみ、体重増加がある ④肌や目が黄色くなった ⑤手が震える、意識がもうろうとする、字をうまく書けない 		・退院後に体調が悪い時はご連絡下さい <平日時間内> 内科外来 0985-85-9883 <土日・祝日・時間外> 3階西病棟 0985-85-1745	

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院